土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　石ヶ宇津川　通常砂防事業に伴う業務委託

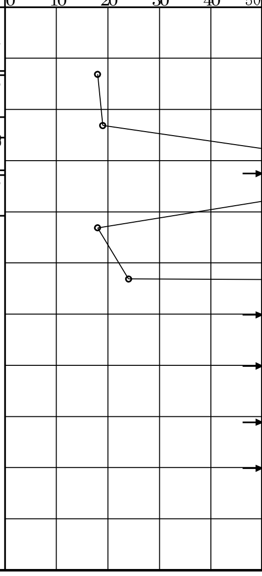
事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor. No. 2	**調査位置**	広島県府中市木野山町地内	**北緯**	34° 38′ 4.8665″
発注機関	広島県東部建設事務所	**調査期間**	2023年 3月 3日 ～ 2023年 3月 9日	**東経**	133° 12′ 55.4328″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人** / **コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 295.30m	**角度** 180° 上 下 0° 90°	**方位** 北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配** 水平0° 鉛直 90° 13°	**使用機種** 試錐機 東邦D1-B型
総削孔長	9.00m				エンジン ヤンマーNFD12型 / ポンプ 東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
1–2	292.85	2.45		砂礫		暗褐			新生代第四紀	φ5cm以下の礫を主体とする。GL-1.00mまで礫分は少ないが、深部になるにつれて礫分が増え、径も大きくなる。
3–5	289.35	5.95		玉石混じり砂礫		褐	rd3		新生代第四紀	コア長20cm以下の玉石を含む砂礫からなる。玉石の色は青灰と淡褐の斑色である。GL-5.45～-5.95m間に礫分が多い。
6–9	286.30	9.00		強風化花崗斑岩		暗灰～淡褐			中生代白亜紀	花崗斑岩の強風化部(軟岩I)。岩片状コア主体。一部、土砂状コア。ハンマー打診で主に濁音を発するが、澄んだ音を発する箇所もある。岩片はハンマー打撃で割れ、土砂は指圧で崩せる。DH級。GL-5.95～-6.40m間は淡褐色。亀裂が多く、強い指圧で崩せる。GL-7.60～-8.40m間に高角度の石英脈がみられる。

孔内水位／測定月日: 03/09 2.15; 03/09 4.08



深度 (m)	N値	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15–1.45	18	5	5	8	18/300		
2.15–2.45	19	6	4	9	19/300		
3.15–3.33	83	29	21/80		50/180	180	
4.15–4.45	18	8	6	4	18/300		
5.15–5.45	24	7	10	7	24/300		
6.00–6.00		貫入不能			50/0		
7.00–7.00		貫入不能			50/0		
8.00–8.20	75	20	30		50/200	200	
9.00–9.00		貫入不能			50/0		

試料採取: 深度 (m) / 試料番号 / 採取方法 — 記載なし

室内試験 / 原位置試験 — 記載なし

削孔月日: 3/6 (3m), 3/7 (6m), 3/9 (9m)